

農業の新しい技術

No. 687(平成27年5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

たままつしげイーティーアイ 褐毛和種種雄牛「球光重E T I」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：安武誠至

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 肉質および枝肉重量、ロース芯面積が優れた褐毛和種種雄牛「球光重E T I」を選抜した。

○血統

父 第十六光重 (育高 2)	祖父 光重E T (育高 1)	— 第二光丸(特級 22)
	祖母 第七さつき(産肉 146)	— 第十重川(高 65)
母 第Ⅲひろみ (繁殖 21487)	祖父 光重球磨(繁殖 91)	— 重球磨(特級 91)
	祖母 ひろみ(繁殖 14866)	— 黒重川(特級 163)

○登録番号：繁殖 1 7 3

○生年月日：平成 2 1 年 1 月 2 1 日

○生産地：玉名市（家畜改良センター熊本牧場）

2. 現場後代検定成績および育種価

○バラの厚さは去勢 8.3 cm、雌 8.1 cm と優れており、育種価でも 6.49(評価種雄牛 497 頭中 14 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○脂肪交雑等級は去勢 3.33、雌 3.25 と優れており、育種価でも 2.15(評価種雄牛 497 頭中 15 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○ロース芯面積は去勢 55.7cm²、雌 55.3cm² と優れており、育種価でも 6.52(評価種雄牛 497 頭中 25 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○S B V は枝肉重量 1.48、脂肪交雑 2.06、ロース芯面積 1.89、バラの厚さ 2.14、皮下脂肪の厚さ-1.73 とすべての項目について改良効果が大きいと推定される。

※S B V (標準化育種価)は、育種価評価値を個体の特徴を明確にするために、数値に変換したもの。値が±1 以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

枝肉重量やロース芯面積、バラの厚さなどの肉量が極めて優れていることから増体性の改良に有効であり、脂肪交雑といった肉質についても優れている「第十六光重」の後継牛として期待される種雄牛です。



球光重 E T I (たまみつしげイーティーアイ)

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	12	521.5	3.33	55.7	8.3	2.6	675.3
雌	4	479.9	3.25	55.3	8.1	3.4	615.5

表2 育種価(BV) (H27.2 評価)

	枝肉重量	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース芯 面積	バラの 厚さ	皮下脂肪 の厚さ	日齢 枝肉重量
順位	36	15	25	14	26	45
育種価	27.66	2.15	6.52	6.49	-7.76	31.97
(正確度)	(0.78)	(0.82)	(0.76)	(0.77)	(0.82)	(0.78)

※ 後代頭数18頭(フィールド成績を含む)

※ 順位は評価種雄牛497頭中の順位



図1 SBV (標準化育種価)